

仕様書

イノベーション推進部

1. 件名

スタートアップ向け経営人材支援事業の取り組み状況に関する調査事業

2. 目的

我が国産業の中長期的な発展に向けて、国内産業の非連続イノベーションの創出による活性化及び競争力の強化を実現するためには、オープンイノベーションを真に根付かせることが重要とされ、産・学・官において様々な活動が実施されている。特に、非連続イノベーションの創出における研究開発型スタートアップの役割は重要であり、次々とスタートアップ企業が生まれてくる環境整備が必要なのは勿論のこと、そのような有望な研究開発型スタートアップ企業との連携は、イノベーション創出を目的としたオープンイノベーション活動の中核に位置付けられると言える。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、「NEDO」という。）では、オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会（以下、「JOIC」という。）の事務局を務めている。JOIC はオープンイノベーションの機運醸成および推進に資する様々な情報提供や、研究開発型スタートアップ企業との連携事例の創出のための取り組みを通して、我が国産業のイノベーションの創出及び競争力の強化に寄与することを目的として活動している。

近年、様々なスタートアップ支援施策が実行される中、スタートアップの起業数は増加傾向にある。一方で、スタートアップの経営陣に参画しようとする人材（経営人材）は、一部で動きが見られるものの、全体としては現状多くは動いていない。これは、スタートアップに転職することで、どのようなキャリアを形成することに繋がるのか、実際にどのような職務内容で、どのような労働環境なのか等の情報が人材に対して行き渡っておらず、スタートアップへの転職について広く価値が認められていないことが背景として考えられる。

また一部の流動している人材についても、求人企業側（スタートアップ・VC 等）が人材の採用に当たり、人材側と職務内容等についての認識の擦り合わせが適切に行えていないことから、ミスマッチが起きていると考えられる。

スタートアップへ転職したことのある人材に対して調査を実施し、HP 等で公表可能な記事等を作成・情報発信することで、人材がスタートアップへの転職を検討するための一助とすると同時に、当該人材を採用する際にスタートアップ・VC 等が実施した取組等の事例から採用時の適切な擦り合わせ方法を求人企業側へも提示することで、求人企業側と人材のミスマッチを減らすことを目的に、本調査を実施する。

3. 内容

(1) スタートアップへ転職した経験をもつ個人への調査

- ① スタートアップ転職経験者 100 人程度以上からの回収を目標として、スタートアップ転職への満足不満足、転職前後でのスタートアップへの印象の変化等の情報をアンケートにより調査する。
- ② アンケート回答者を中心に、20-30 人分程度のヒアリングを実施する。ただし外部有識者等経由で複数人分のヒアリングを行う等適宜効率的に収集活動を行うことは可とする。調査内容としては、個人の年齢・性別・職種や転職先スタートアップのステージ別に、職務内容、給与、ワークライフバランス、職場環境、スタートアップ転職への動機、入社前の期待値と入社後の実感の差分、得ることができたキャリア、等を想定している。
- ③ なお対象とするスタートアップ転職経験者は、可能であれば、スタートアップで現在勤務する者の他、現在は大企業等に勤務する者にも行う。

(2) (1)①②で回答した個人の転職に関与したスタートアップ・VC 等への調査

- ① (1)②でヒアリングを実施した人材の採用に関与したスタートアップ・VC 等を対象に 20-30 法人程度のヒアリングを実施する。ただし外部有識者等経由で複数人分のヒアリング・情報収集を行う等適宜効率的に収集活動を行うことは可とする。調査内容としては、個人の年齢・性別・職種や転職先スタートアップのステージ別に、誰が、どのように、採用活動時に人材側と職務内容を擦り合わせたか、その結果人材側は職務内容イメージとどの程度転職前と転職後でギャップがあったのか（又はなかったのか）、どこが成功（または失敗）した要因と思うか、等を想定している。
- ② 可能であれば、(1)①のアンケート結果で回答した人材の採用に関与したスタートアップ・VC 等に対して、アンケートを実施する。

(3) コンテンツ・記事の作成

- ① (1) (2)にて収集した調査結果をもとに、HP 上で公表可能な記事を作成する。
- ② 最終成果物として、NEDO が定める成果物の他に、報告書、及びその概要版、を作成すること。

(4) イベントの開催

- (3)①で作成した記事をもとに、イベントを 1 回以上開催する。

(5) その他

- ① スタートアップにも幅広いステージ・多種多様な職種等が存在する中、本事業においては、すべてのスタートアップに当てはまる条件等を調査するのではなく、特定のステージ・特定の職種（2～5 種程度）において効果の高い条件等を調査することを想定している。提案内容には、調査対象とするステージ・職種等を盛り込むこと。
- ② 2.目的で記載の通り、本事業では、これまでスタートアップに関心がなかった人材の流動させることを目的としている。発信する情報（コンテンツ・記事等）の内容、情報を届ける方法等、前述の目的を達成できる内容・方法について、当該分野についての現状分析や現状認識と併せて、

提案内容に盛り込むこと。

- ③ 事業期間中、進捗等の中間報告（10月中～12月前半頃迄）として、その時点の成果を取りまとめて報告する機会を設けること

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2021 年 2 月 26 日まで

5. 予算額

2,000 万円未満

6. 報告書

事業終了時に、調査報告書の電子ファイル（PDF ファイル形式）を CD-R 等の不揮発性媒体に記録し、2 枚を所定の期日までに提出すること。

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出すること。

http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_tebiki_index.html

調査により得られた資料は、電子媒体で一式を別途提出すること。

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上